赤羽根字十三図周辺を特別緑地保全地区※に指定

　赤羽根字十三図周辺は、数多くの動植物の生育・生息環境として貴重な生態系が保全されています。今後、土地所有者や保全活動を行う市民ボランティアの方々のご協力を得ながら、「赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区保全管理計画」に基づいて地区の保全を進めていきます。

　なお、貴重な自然環境を保全するため、通常時の立ち入りは一部の区域に限られていますが、今後は自然観察会などを実施する予定です。

　この地区は市内で唯一、相模川水系から外れたエリアで、引地川水系の小糸川源流域の細流が流れています。湿地には県の準絶滅危惧種に指定されている「カトリヤンマ」や湘南地域では他に生息地が知られていない「ヒメシロネ」など、希少生物の生息・生育空間になっています。

カトリヤンマ

ヒメシロネ

赤羽根字十三図周辺特別緑地保全地区

※ 都市の良好な自然的環境となる緑地を永続的に保全することを目的とした地域地区のひとつ

【景観みどり課みどり担当】

土砂災害に備える

土砂災害に注意が必要な区域をご確認ください　　　　【防災対策課防災担当】

　土砂災害の危険から市民の生命を守るため、市内では土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域が指定されています。市では「土砂災害ハザードマップ」の作成をし、危険箇所と避難に必要な情報を周知しています。ハザードマップは市内公共施設、で配布をしています。また、市HPからも取得できます。

土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）・・・土砂災害の恐れがある区域

土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

・・・土砂災害警戒区域のうち、建物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域

崖崩れ

行谷、芹沢、堤、下寺尾、赤羽根、高田1丁目、甘沼、香川、香川7丁目、みずき2丁目～4丁目、ひばりが丘および小桜町の各一部地域（54区域）

土石流

赤羽根の一部地域（3区域）

早めの避難を！

　土砂災害は予測の難しい災害です。大雨の際は各自が斜面の状況に注意を払い、普段と違う様子（崖に亀裂が入る、小石がパラパラと落ちてくるなど）に気付いた場合は直ちに安全な場所に避難してください。

　なお、土砂災害から身を守るためには、できるだけ早い段階で土砂災害警戒区域外へ避難することが必要ですが、避難所などへの移動が危険な場合は、近くの丈夫な建物や自宅の２階以上に避難するなど緊急的な行動も考えられます。

　市では気象状況等に応じて、避難に関する情報を発表し、防災行政用無線等で伝達します。

市が開設を予定している避難所

早期避難所

土砂災害（特別）市内に災害が予測される場合、より早い段階で身を守っていただく

ため開設します。

警戒区域近くの早期避難所

・小出支所 ・香川公民館 ・松林公民館

その他の早期避難所

・市役所 ・小和田公民館 ・鶴嶺公民館 ・南湖公民館 ・萩園ケアセンター

避難所

早期避難所に加え、災害の種類や規模に応じて、公立の小・中学校を開放します。